

お知らせ

平成 20 年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 20 年 4 月～平成 20 年 9 月
2. 応募締切日 平成 19 年 12 月 21 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

先端研究施設共用イノベーション創出事業 (2)

物質科学第一研究系 野村 昌治

前号でも紹介しましたが、この事業は先端的な研究施設の産業界による利用を促進することで、イノベーションをもたらそうとするものです。事業の内容に関して紹介します。

1. PF の提案

PF では蛍光 X 線分析, XAFS, イメージング, トポグラフィ法を核に

- ・放射光によるエネルギーイノベーション
- ・放射光による材料創成イノベーション
- ・放射光による環境イノベーション
- ・放射光 X 線を用いたイメージングによるイノベーションの四戦略分野での研究を推進します。同時に、これら以外の分野を含めて新規利用拡大を図ります。

但し、構造生物分野は既に産業利用システムが一定程度確立しているため対象外としています。また、所外機関の管理するビームライン、協力ビームラインについても支援体制を構築することが容易でないため、当面は対象としていません。

2007 年度は、

- ・ 共用促進リエゾン、施設共用技術指導研究員 数名を配置。
 - ・ 5～10 課題程度で、800 時間程度の供用を予定（延べ運転時間の 0.5%）。
 - ・ 本事業に対応する課題審査委員会を設け、年 2 回の募集。可能な限り随時受け付け（留保ビームタイム等の活用）。
 - ・ 講演会、講習、啓蒙活動。
- を計画し、立ち上げつつあります。

2. 課題の申請、審査

利用者は産業界（単独の企業、複数企業の共同、もしくは業界コンソーシアム）とします。共同研究者として大学や独立行政法人等を含むこともできますが、産業応用を主な目的とするものに限定されます。「官学」が主体となる産学官共同研究については、共同利用で申し込んで下さい。利用者単独による利用、および利用者とフォトンファクトリーの共同研究のいずれも可とします。

本事業で支援するのは技術課題に対する放射光の有効性を検証するまでとし、その後の事業活動に利用する場合は施設利用、共同研究等へ移行することが求められています。

1～3 月期に研究を開始する課題の応募は 11 月 16 日に締め切り、課題審査を行います。課題審査は一般共同利用とは異なり、以下の観点から評価します。

1. 技術開発上の価値、産業育成上の価値、社会的なニーズ
2. フォトンファクトリー利用の必要性、技術的な実行の可能性
3. 合目的性（戦略分野との整合性、平和目的等）、実験

内容の安全性

4. 実験組織の能力・意欲

5. フォトンファクトリー全体の実験計画との関連。

この他、留保ビームタイムを活用して対応していく予定です。

施設共用の運転実施に係る経費や民間企業が利用しやすい支援体制を構築するための経費は本事業で手当てされ、利用料は徴収しません。国の予算で支援されるため、成果報告書は公開されますが、特許取得等の理由により、所要の手続きを経て、公開を最大 2 年延期することが出来ます。

4 月以降に利用を開始する課題については 1 月に募集します。課題募集の詳細については <http://pfwww.kek.jp/innovationPF/> を参照して下さい。

3. 支援体制

本事業では産業利用に供するビームタイムとともに、産業利用を支援する人材が重要な役割を果たします。新人紹介欄にありますように共用促進リエゾンとして阿刀田伸史氏が着任しました。今後、順次施設共用技術指導研究員が着任予定ですが、まだ不足しています。

産業界のニーズを理解し、課題を解決してイノベーションをもたらすためには技術的支援に止まらず、実験計画のデザイン、準備、実験、データの解析、得られた結果の解釈と総合的に支援を行うことが重要であると考えています。このため、可能な限り産業界と施設共用技術指導研究員の間で力を合わせて共同研究的に研究を展開し、成果を公表することを考えています。施設共用技術指導研究員として化学系のバックグラウンドを持って、XAFS 関係の支援をする人材を募集しています。自薦、他薦お願いします。

予 定 一 覧

2007 年

- 12月17日 PF, PF-AR 平成18年度第二期ユーザー運転終了
- 12月21日 平成19年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切

2008 年

- 1月12日～14日 第21回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム
(立命館大学びわこ・くさつキャンパス)
- 1月17日～18日 PF研究会「X線位相利用計測の将来展望」
- 1月22日 PF 平成19年度第三期ユーザー運転開始
- 1月29日 PF-AR 平成19年度第三期ユーザー運転開始
- 2月29日 PF 平成19年度第三期ユーザー運転終了
- 3月10日 PF-AR 平成19年度第三期ユーザー運転終了
- 3月18日～19日 第25回PFシンポジウム

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

平成19年11月1日

関係機関の長 殿
関係各位大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村 理 (公印省略)大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり特定有期雇用教員として、博士研究員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研07-5

- 1 公募人員
博士研究員 (常勤) 若干名 (任期は単年度契約で3年まで延長可能)
- 2 研究 (職務) 内容
放射光科学研究施設において、以下のいずれかの研究を内部スタッフと協力して推進する、意欲のある研究者を若干名募集する。
 - (1) エネルギー回収リニアックのビーム力学に関する研究
エネルギー回収リニアック (ERL) に基づく次世代の放射光源加速器 (実証機および実用機) の全体設計およびビーム力学上の諸問題について研究し、PFの将来計画を推進する。
 - (2) 軟X線アンジュレーター光を利用した有機薄膜・表面科学研究
放射光科学研究施設において、内部専任スタッフと協力して軟X線アンジュレータービームラインの再構築に参加するとともに、当該ビームラインにおいて軟X線アンジュレーター放射光を利用した有機薄膜・表面科学の研究を遂行する。
- 3 応募資格
応募時点で博士の学位を有する者又は着任までに学位取得が確実な者
- 4 公募締切
平成19年12月21日 (金) (必着)
- 5 着任時期
平成20年4月1日以降出来るだけ早い時期
- 6 給与
基準年俸額 3,960,000円 (事業年度途中で採用された場合は、採用時期に見合った額) および、通勤手当
- 7 選考方法
原則として面接選考とする。
- 8 提出書類
 - (1) 履 歴 書……………通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
 - (2) 研 究 歴
 - (3) 着任後の抱負
 - (4) 発表論文リスト……………和文と英文は別葉とすること。
 - (5) 論 文 別 刷……………主要なもの3編以内
 - (6) 本人に関する推薦書または参考意見書
 上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。また、審査前に辞退のあった場合以外の提出書類の返送は致しません。
- 9 書類送付
送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 10 問い合わせ先
 - (1) 研究内容等について
研究主幹 若槻 壮市 (放射光科学第二研究系) TEL 029-864-5631 (ダイヤルイン)
 - (2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ダイヤルイン)

運転スケジュール(Dec./2007~Mar./2008)

E : ユーザー実験 **B** : ボーナスタイム
B* : ボーナスタイム(2007年度後期のみ)
M : マシンスタディ **T** : 立ち上げ
MA : メンテナンス **SB** : シングルバンチ

12月		PF	PF-AR	1月		PF	PF-AR	2月		PF	PF-AR	3月		PF	PF-AR
1(土)				1(火)				1(金)				1(土)			
2(日)	E		E	2(水)				2(土)	SB			2(日)			E
3(月)	M		M	3(木)				3(日)			E	3(月)			B*
4(火)	B		B	4(金)				4(月)	M			4(火)			B
5(水)				5(土)				5(火)	B		B	5(水)			
6(木)				6(日)				6(水)				6(木)			E
7(金)	E		E	7(月)				7(木)				7(金)			
8(土)				8(火)				8(金)	E		E	8(土)			
9(日)				9(水)	STOP	STOP		9(土)				9(日)			
10(月)	M		M	10(木)				10(日)				10(月)			
11(火)	B (3GeV)		B	11(金)				11(月)	M			11(火)			
12(水)				12(土)				12(火)	B		B	12(水)			
13(木)				13(日)				13(水)				13(木)			
14(金)	E (3GeV)		E	14(月)				14(木)				14(金)			
15(土)				15(火)				15(金)	E		E	15(土)	STOP		
16(日)				16(水)				16(土)				16(日)			
17(月)				17(木)				17(日)				17(月)			
18(火)				18(金)				18(月)	MA/M		M	18(火)			
19(水)				19(土)				19(火)	B		B	19(水)			
20(木)				20(日)	T/M			20(水)				20(木)			STOP
21(金)				21(月)				21(木)				21(金)			
22(土)				22(火)		B		22(金)	E		E	22(土)			
23(日)				23(水)				23(土)				23(日)			
24(月)				24(木)				24(日)				24(月)			
25(火)	STOP		STOP	25(金)		E		25(月)	B*		MA/M	25(火)			
26(水)				26(土)				26(火)	B		B	26(水)			
27(木)				27(日)			T/M	27(水)				27(木)			
28(金)				28(月)		M		28(木)	E		E	28(金)			
29(土)				29(火)		B(SB)		29(金)	STOP			29(土)			
30(日)				30(水)								30(日)			
31(月)				31(木)		SB						31(月)			

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/untent/titlej.html>)をご覧ください。